

令和４年度 南房総市総合計画審議会第２回会議 会議録

１．日 時：令和４年１０月６日（木） 午後１時３０分～午後４時３０分

２．場 所：南房総市役所 本庁舎 別館１ 大会議室

３．出席者：総合計画審議会委員（出席１５名、欠席１名）

南房総市：石井市長、嶋田副市長、三幣教育長

高梨総務部長、相川保健福祉部長、西田市民生活部長、小野農林

水産部長、石井商工観光部長、中山建設環境部長、山野井病院事

務長、眞田水道局長、小高会計管理者、水島教育次長

企画財政課（小澤課長、中村課長補佐、押元係長、堀江主事）

コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

４．次第：１開会

２会長あいさつ

３市長あいさつ

４議事

（１）第２次南房総市総合計画後期基本計画（総論）（案）について

（２）第２次南房総市総合計画後期基本計画（各論）（案）について

５報告

（１）第２次南房総市総合計画前期基本計画の進捗管理について

（２）第２期南房総市総合戦略の進捗管理について

（３）地方創生推進交付金活用事業の進捗管理について

６その他

７閉会

５．配布資料：資料１ 重点プロジェクト（案）

資料１-１ プロジェクト N01 子育て・教育環境の充実

資料１-２ プロジェクト N02 仕事づくりとマッチング支援

資料１-３ プロジェクト N03 移住・定住の更なる促進

資料１-４ プロジェクト N04 持続可能なまちづくり

資料２ 後期基本計画（各論）（案）

資料３ 令和４年度 総合計画記載事業進捗管理票（令和３年度事業分）

資料４ 令和４年度 総合戦略記載事業進捗管理票（令和３年度事業分）

資料５ 地方創生推進交付金の効果検証【外部評価】

資料 6 南房総市人口ビジョン「将来展望人口」最終案

資料 7 主な意見等一覧

6. 審議概要

1 開会

事務局： お時間となりましたので、始めさせていただきます。皆さまにおかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は本日の会議の進行を務めさせていただきます、総務部企画財政課、課長の小澤と申します。よろしくお願いいたします。会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

《資料の確認》

事務局： 欠席委員のご報告を申し上げます。本日お配りしてございます、審議会委員の名簿をご覧ください。石井委員におかれましては、ご都合により欠席となっております。それでは、ただいまから令和 4 年度南房総市総合計画審議会第 2 回会議を開会します。

2 会長あいさつ

事務局： 続きまして、次第の 2「会長あいさつ」に移ります。鎌田会長よろしくお願いいたします。

会 長： 皆さん、こんにちは。先日まで暑かったと思ったら、初冬のような寒さでしたが、お元気でしょうか。私が総合計画に関わって 15 年程、改めて身を引き締めて臨んで行きたいと思えます。特に若い人達をしっかり守り育てていくことが今回の目玉になっています。我々にできることは何なのかを考えながら進めていこうと思えます。今回重点プロジェクトと各論についてご審議いただくことになっております。前回までに出た意見が包括的に資料に反映されているかチェックしていただきたいと思います。

3 市長あいさつ

事務局： 続きまして、次第の 3「市長あいさつ」に移ります。石井市長よりご挨拶申し上げます。

市 長： 各委員の皆さまには、お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。また、本日は新たな後期基本計画のご審議いただくことになります。この計画にあたりましては皆様ご承知のように、市民の方々とのワークショップ、また職員のなかでのワーキングチームで議論を重ねまして我々は検討を続けてきています。少しでも具体的にそして実効性のある計画にまとめてもらいたいと思います。皆さんの活発なご議論をお願いしたいと思います。

4 議事

事務局： 続きまして、次第の4「議事」に移らせていただきます。議事の進行につきましては、南房総市総合計画審議会規則第5条第1項の規定により、会長が議長を行うことになっておりますので、鎌田会長、よろしくお願いいたします。

会 長： それでは、議長を務めさせていただきます。本日の出席委員は15名です。半数以上の出席がありますので、総合計画審議会規則第5条第2項の規定により、会議はここに成立いたしました。ご質疑等がございます方は、挙手をもって、議長が指名した後お名前を言っていただいてから、マイクを使って発言をしていただきたいと思います。

(1) 第2次南房総市総合計画後期基本計画（総論）（案）について

会 長： それでは、早速議事に入ります。議事の「(1) 第2次南房総市総合計画後期基本計画（総論）（案）について」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会 長： ありがとうございました。資料1-1～1-4まで、ご報告いただきましたが、ただいまの説明について、ご不明な点等ございましたら、ご質問をお受けしたいと存じます。いかがでしょうか。ロジックモデルに慣れないかもしれませんが、どのように検討されたか経緯が記載されています。今後どのように進捗管理をしていくか、進捗状況を確認するためにも使用されます。何かご意見等ございましたらお願いします。押元委員と川名委員は前回ご欠席されていましたが、ご不明点等ございませんか。

委員： ワークショップに参加させていただいて、仕事づくりの部分を話しました。子どもたちが南房総に仕事があることを知らないというお話がありました。南房総らしい仕事があることを子どもたちにもわかりやすい伝え方をしているのか、どのように PR されているかがどの部分に反映をされているか見えないので教えてください。（藤井委員）

事務局： このことについてはとても大事なことです、追記させていただきます。

会長： 子どもと仕事など、跨る部分は見落としがちになりますので、ご指摘いただければと思います。

委員： 二地域居住について、移住・定住の促進に統合されたとご説明がありましたが、重点プロジェクトに文言がありません。移住後も二地域居住の形態をとられる方がいると思いますので、この二地域居住の文言を残すべきではないでしょうか。（出川委員）

職員： 事業自体は残しています。二地域居住については、内部で検討した結果、統合という形にしました。（総務部長）

委員： 重点プロジェクト 1-1「仕事と育児の両立支援」について、弊社の取組があります。女性のライフイベントを支援していますが、出産などで採用が追い付きません。コロナの影響で実施を見送っていた企業説明会を再開していただければと思います。（鈴木委員）

職員： 地元企業とのマッチングイベントを平成 28 年から令和元年までやっていましたが、なかなか実績がでない、結果がでない状況がありました。今後何か違った形で支援することを検討したいと思います。（商工観光部長）

委員： オンラインの説明会を開催していますが、直接顔を見合わせて説明できる場が必要と感じていますのでご検討をお願いしたいと思います。（鈴木委員）

職員： 採用に関しては、ハローワーク、行政、地元企業と連携を進めながら考えていきたいと思います。（商工観光部長）

委員： 重点プロジェクトで、前期計画で人口 3 万人を維持していくというお話でしたが、下方修正されていました。おそらく目標達成するために、下方修正をされ

たと思いますが、プロジェクト１～４で最終的にどこを目指しているのかお聞きしたいと思います。各プロジェクトに最終的に掲げる目標を分かりやすく示すべきだと思います。強烈に意識しないといけない課題をあげて、目標値を決める必要があると思います。将来的な人口維持目標と結び付けて重点プロジェクトのどこに力を入れていくのか、考えていくべきだと思います。（押元委員）

委員： 重点プロジェクト４で、近隣市町村との生活インフラをつくることや観光など、南房総市だけでなく、もう少し見る地域の範囲を拡げてもよいと思います。（川名委員）

会長： 押元委員の意見でプロジェクトごとに達成指標を定める案について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 目標人口について、３万人維持はかなり現状とかけ離れています。２万５千人維持もかなり厳しいです。

市長： 将来にわたって人口３万人維持が、現実的ではない、市長の方針として力不足だったと感じています。少しでも実態に即した実現可能な目標に転換していきたいと考えています。２万５千人維持もハードルとしては高いです。資料６「人口ビジョン」の中で、２０３０年出生率１．４の数値があります。現状、合計特殊出生率１．１を１．４にすることもかなり厳しいと思います。本市になって１６年間の中で出生率が一番高かったのが１．４なので、この数値を維持することを目標としようと思います。２０３０年に出産適齢期の女性の数が現在と同数で合計特殊出生率が１．４の場合、子どもの出生数は１２０人位です。この目標はかなりハードルが高いですが、現実路線としてそこを目指していこうと考えています。

女性が魅力的と感じる社会や環境をつくっていくことが後期計画の基本的な位置づけになります。女性が魅力的と感じる環境とは、例えば、男性が子育てに関わって女性の家事や育児の負担を減らすことだと思います。このような環境が出生率に大きく影響されるのです。なかなか数値に表せない部分ですが、このような考え方に基づいてこの計画を立てています。

会長： 何かご意見ありますでしょうか。

委員： 重点プロジェクトに掲げた目標を達成する為に、プロジェクトごとの進捗がわかるとよいと思ってご提案させていただきました。（押元委員）

会 長： 複合的な領域の中で総合計画の指標を立てています。目標に対してのアプローチをもっと分かりやすく記載することは今後の検討課題とさせていただければと思います。

事務局： 合計特殊出生率や流入人口等の効果が反映されてきているかどうかは、各年で実施計画を作成し、人数や進捗を計ることができると考えています。

会 長： 川名委員のご意見についてはいかがでしょうか。

職 員： 館山市と南房総市の二市で定住自立圏構想を進めています。移動手段として、館山駅に向かう公共バスが多いです。生活する上で館山市との関係が大きく影響し、交通の利便性の良さを目指しているのも、館山市との連携と記載しました。（総務部長）

委 員： ロジックモデルの資料について、重点プロジェクトがどのように検討されてきたか、とてもわかりやすい資料になっていると思います。この審議会などの議論の経過を市民に見える化していくことで、市民と一緒に考え、課題の解決に繋がるのではないかと思います。市外からの移住を促すことよりも現在住んでいる市民に向けての広報に力を入れていくことも検討するべきではないでしょうか。（武田委員）

職 員： 移住者だけでなく市民向けにもわかりやすい情報発信の方法に力を入れる取組を始めております。昨年からシティープロモーションをやったり、HP を分かりやすく工夫したり、今後はツイッターをやるなど色々な形で情報発信をしていこうと考えています。子どもたちに向けては、教育委員会が南房総学など取り組んでいます。子どもたちや現在市外に居住している空き家の貸主まで情報が届くような取組を考えていきます。（総務部長）

副会長： UI ターンは非常に大事になります。現在白浜に住んでおりますが、空き店舗がでると館山から来た借主がすぐに商売を始めます。もともと南房総市に住んでいる方が戻ってくることも大事ですが、南房総市をよく知っている方は近隣の市町村に住んでいる方々です。その方々が商売しやすい環境づくりをすると南房総市の空き店舗が減り、新たに職場も増えていくと思います。都会からひとを呼ぶよりも簡単なことだと思います。

職 員： 館山市との定住自立圏のお話がありましたが、館山で仕事を探している方向

けに PR や広報に力を入れたと考えています。(商工観光部長)

副会長： 先程もお話しました通り、館山、鴨川だけでなく、更にその周辺の地域に住んでいる方が商売を始めやすい環境づくりを検討してほしいと思います。

委員： 子育て支援について、預かり保育や給食費無償化など、近隣市でも充分実施しています。南房総市が近隣市と比べ、より充実していると思われるよう施策の検討をお願いしたいと思います。現在も取り組んでいる事業で空き家バンク、空き地について、昨年度はどれくらいの数の登録があり、申し込みがあったのか、お聞きしたいと思います。また空き家がある場所は学校からどのくらい離れているか、空き家の改修費用補助はあるのか教えていただきたいと思います。(関委員)

職員： 給食費無償化については、南房総市が千葉県費用補助事業に加わった状況です。南房総市としては、基本的には給食費は親に負担をしてもらい、それ以外の習い事などを支援するバーチャル券など別の教育のメニューで手厚く支援をしています。(教育次長)

職員： 昨年度の空き家バンクの新規登録は 12 件ありました。その中で、契約状況は賃貸が 3 件、売買が 6 件ありました。空き家の修復支援については、対象改修費 2/3 以内で上限 200 万円の助成制度を現在市が行っています。(建設環境部長)

会長： 子育て支援と空き家バンクについて、関委員のご意見を踏まえて今後検討してほしいと思います。

教育長： 給食費無償化について、年間の費用は 1 億 2000 万円か 1 億 3000 万円、無償化にするとこの額が市の負担になります。幼稚園教育を実施しているから預かり保育が生じます。館山市、鴨川市には幼稚園が少なくなっており、認定子ども園があります。幼稚園教育をすべて公立で実施しているのは、周辺自治体では南房総市だけです。幼稚園は午前 9 時から午後 2 時までやっていて、その前後を預かり保育として子どもを預かります。幼稚園では、午後 2 時以降に行う当日のまとめ、翌日の準備が重要ですが、認定こども園にすると、その準備などの時間が取れなくなります。幼稚園教育の預かり保育費用が年間 6 千 500 万円です。給食費無償化も実施すると、どこか費用を削らなければいけなくなります。給食費無償化よりも保育・教育のサービスを展開する選択をしています。今の段階ではご理解いただきたいと思います。

委員： 南房総市に住みたいと思ってもらう為の案として給食費無償化を例にお話させていただきました。（関委員）

教育長： 私どもは、かなりのことを実施していると自負しております。それをいかに発信していくかが今後の大きな課題だと捉えており、今以上に PR していくつもりです。

委員： 私の子どもは南房総市の給食が大好きです。食べ物の好き嫌いがいいことは、普段おいしい給食を食べているからだと思います。このことを他所に住んでいる知り合いに話すと羨ましがられます。働く親としておいしい給食を提供してもらえることはとても助かっています。南房総市の給食をもっと PR してほしいと思います。先日子どもが芋畑に落ちていたユウガオの実を拾って給食室の職員に見せに行きました。職員は子どもたちと一緒にこの実からかんぴょうを作り、かんぴょう巻きにして食べさせてくれました。子どもが嬉しそうに話していたのでこの場で幼稚園の出来事を共有したいと思いました。（押元委員）

委員： 南房総市はとても素晴らしい取組をしています。医療費の助成対象を高校生まで範囲を拡げたり、住宅奨励金もかなり手厚い施策だと思います。弊社の社員は館山市に住んでいる人が多く南房総市の取組を知らないなので、周知することに力を入れてほしいと思います。（鈴木委員）

会長： 質問がないようですので、以上で質疑を終了いたします。大事な議論になりますが、「第２次南房総市総合計画後期基本計画（総論）（案）」について、お諮りしたいと思います。ご賛成の方は挙手をお願いします。

《全員挙手》

会長： 以上で、議事の「（１）第２次南房総市総合計画後期基本計画（総論）（案）」について」を終了いたします。

会長： 続きまして、議事の「（２）第２次南房総市総合計画後期基本計画（各論）（案）」について」事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会 長： ただいまの説明について、ご不明な点等がございましたら、ご質問をお受けしたいと存じます。いかがでしょうか。

委 員： 取組の横に「★」が記載されている箇所がありますが、どのような意味でしょうか。（藤井委員）

事務局： 重点プロジェクトに位置付けられている取組になります。

副会長： 13 ページに記載のアワビについて、今年はキロ4万円とかなり高額となっています。一般市民がなかなか手を出しにくい金額になっており、ブランドではなくなっている気がします。南房総の海産物を楽しみに観光客が来ていると思いますが、その楽しみのひとつが無くなってしまったように思います。何かよいアイディアがあればと思います。

職 員： 地元漁協では養殖を行っていたり、余ったアワビを地元に卸すことなどしています。それ以上はよい案がありません。（農林水産部長）

委 員： シティプロモーションや市民ワークショップに参加して、その場がとても印象深かったです。南房総市について市民が考えて意見を出し合う場がすごく大事だと感じました。このような場が重点プロジェクトや各論の中で、どのような位置づけになっているのかお伺いしたいと思います。（白井委員）

事務局： 51 ページ「(3) 多様な主体との協働の推進」で記載をしております。

会 長： 市民のアイディアや活動をニーズに合わせて提案いただく場となっております。協働という仕組みができていると思います。

委 員： 社会福祉協議会でも住民の方々と一緒に地域の課題を解決していく取組があります。8 ページに「(1) 地域福祉推進の体制づくり」と記載があります。市民参画の場を福祉の視点から取り組んでいます。（羽山委員）

委 員： 10 ページの農林業の振興について、「農業経営基盤強化推進法の改正」の記載があります。昨年度まで自分の住んでいる地域において「人・農地プラン」の実質化に携わっておりました。優秀な担当職員と何度も打ち合わせをして実質化に至ることができました。彼らの働きぶりを見て、策定まで多くのエネルギーを使っている印象を受けました。今後市のすべての地域において地域計画と活性化計

画を立てることは、マンパワーが完全に不足していると実感しました。職員の人数を増やすなど、彼らが働きやすい環境をつくる検討をしてほしいと思います。
(岡本委員)

職 員： 現状マンパワー不足で「人・農地プラン」計画を市内全域にどのように運用、策定していくのか不確定です。まだ市内の 13 地区しかプランが策定されていない状況で、今後関係部署と連携しながら協議していきたいと考えています。(農林水産部長)

委 員： 51 ページの協働のまちづくりの推進について、以前千葉工業大学の学生のワークショップに参加しました。子どもたちからも評判がよく、南房総市に住みながら大学生と交流できる貴重な機会でした。コロナの影響で最近が開催できなかったと思いますが、ぜひまた続けてほしいと思います。(押元委員)

会 長： 学生たちにとっても自分の専攻分野が活かされる活動を通して市民に喜んでもらえることが日々の勉強の励みになっていると思います。今後もそういった交流の場をつくっていければと思います。

職 員： まさにその通りで、子どもたちが生き生きと参加していたと聞いています。今後千葉工業大学と企画も含めて検討しながら進めていきたいと思います。(市民生活部長)

会 長： 私どもの大学は理系なので、情報系プログラムや、ドローン、ロボット、AI など、理科や数学が得意な学生が多いです。そういう分野でお手伝いできればと思います。

委 員： 19 ページの企業誘致の推進について、誘致にあたってターゲットとされている企業の業種や従業員規模などお聞きしたいと思います。また空き公共施設の数を知っていただきたいと思います。(出川委員)

職 員： 従業員の多い企業を誘致できればよいと思います。また都市部から遠くてもやっていける事業で情報系の企業に働きかけをしていきたいと考えています。今のところ業種を絞って誘致していることはありません。空き公共施設については、学校の跡地に入ってもらっている企業があります。今のところ市内に 1～2 カ所程度と伺っています。今後の方針は決まっておらず、誘致できる公共施設の数は把握しておりません。(商工観光部長)

委 員： 17 ページの若者を中心とした雇用の推進について、どのような形で実施しているのかお聞きします。（阿部委員）

職 員： 仕事紹介動画の配信について、市ＨＰの仕事紹介のところで実施しています。（商工観光部長）

委 員： 若者の流出を防ぐためには、高校生をターゲットにした動画作成があってもよいのではないかと思います。（阿部委員）

職 員： 卒業間際の高校生に対して、ハローワークとコラボレーションして情報提供を行っています。（商工観光部長）

委 員： 43 ページの水道普及率で市内に未普及地域がありますが、それについてはいかがでしょうか。（阿部委員）

職 員： 水道未普及地域について、市内で三芳地区にありましたが、旧三芳村から引き継いで昨年度末に解消をしております。水道を引いていない家庭が市内で点在しています。すべてのエリアで本管の設置は完了している認識です。本管から宅内への引き込み費用は各戸で負担してもらう様お願いしています。自己水源を確保しており水道を引いていない方、引き込み費用の負担が難しい方がおり、水道未普及宅が点在している状況です。水道事業として引き込み費用を負担することは難しい問題だと思います。（水道局長）

委 員： 国と県が事業承継に力を入れています。市でも事業承継をして事業継続を後押しする取組があればよいと思います。（押元委員）

職 員： 家族経営については、ご家族が継承できればよいですが、家族以外の方が継承する事例もかなり出てきています。国や県の情報を受けながら、商工会や金融機関と連携し、一緒に考えていきたいと思います。（商工観光部長）

会 長： 議事の「（２）第２次南房総市総合計画後期基本計画（各論）（案）について」お諮りしたいと思います。ご賛成の方は挙手をお願いします。

《全員挙手》

会 長： 以上で質疑を終了いたします。

5 報告

会 長： 続きまして、報告の「(1) 第2次南房総市総合計画前期基本計画の進捗管理について」事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会 長： ありがとうございました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。何かございますか。

《質問・意見なし》

会 長： 続きまして、報告の「(2) 第2期南房総市総合戦略の進捗管理について」について、事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会 長： 事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。

《質問・意見なし》

会 長： 続きまして、報告の「(3) 地方創生推進交付金活用事業の進捗管理について」について、事務局より説明をお願いいたします。

《事務局より説明》

会 長： 事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等をお受けしたいと存じます。

委 員： 具体的に事業者名やどの企業とマッチングして何を販売したのか、差支えなければ教えてください。(岡本委員)

職 員： 詳しいことは資料がないので具体的には申し上げられませんが、グランピングや貸別荘の事業等、市内で現在の仕事から派生した別の事業を展開していく方もいます。(商工観光部長)

委 員： これに関してどの程度交付金が交付されていますか。（岡本委員）

事務局： 資料を持ち合わせていないため、後日回答をさせていただきます。

会 長： 外部評価として、経緯等事業効果が分かればよいと思います。その他、皆さまから意見等ございますか。

《質問・意見なし》

会 長： 以上ですべての議事を終了させていただきます。長時間にわたり、貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。今後ともご協力いただきますようお願いいたします。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

6 その他

事務局： 鎌田会長、円滑な進行をありがとうございました。それでは次第の「6 その他」、事務局より説明申し上げます。

《事務局より説明》

事務局： ただいまの説明につきまして委員の皆さま方から、何かご意見等はございますでしょうか。

《質問・意見なし》

7 閉会

事務局： 委員の皆さま方には、長時間にわたりまして慎重なご審議をしていただきましてありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度南房総市総合計画審議会第2回会議を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

以上